

産学官共同プロジェクト立ち上げ

FDCの新年度方針が「ルネッサンス」と言われるのは①中止する事業と継続する事業②一部内容を変更して実施する事業③新たに実施を計画した事業を明確にしたことである。

新規に行う事業は「次世代型繊維産業構築支援事業」、「東京での展示会開催」、「戦略会議の設置」、「マーケッター養成事業」、「市町村常設オリジナルエリアの設置」などである。

このうち「売れる物作り（プロダクト）」では新たに次世代型繊維産業構築支援事業に取り組む。これは大学、尾張繊維技術センター（愛知県産業技術研究所）、FDC・業界との「産学官」共同研究で、主に非衣料分野の商品開発にチャレンジするもの。本格的な産学官の共同研究は尾州産地では初めての取り組みで、早くも期待が高まっている。

更に新商品開発では尾州産地の技能、技法を伝承している経験豊富な人々による「匠の

会」を組織、各自が持っている「匠の技」や「産地が残さねばならない技能、技法の伝承」を推進する。加えてテキスタイルプランナー協議会が尾張繊維技術センターの協力を得て進めている時代に即した商品開発をプロモートする。このプロジェクトは昨年、ウォッシュブル対応の高級ウールスーツ製造マニュアルをまとめた実績を持っている。